

みずほCustomer Desk Report 2017/02/16 号 (As of 2017/02/15)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.28	1.0579	120.88	1.0066	1.2468	0.7669
SYD-NY High	114.95	1.0609	121.28	1.0119	1.2481	0.7720
SYD-NY Low	113.85	1.0522	120.75	1.0048	1.2384	0.7638
NY 5:00 PM	114.16	1.0599	121.03	1.0050	1.2458	0.7710
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.955/10.405		Δ25RR	0.113	Yen Call Over	

NY DOW	20,611.86	107.45	債券市場	日本2年債	-0.2350	▲2.6bp
NASDAQ	5,819.44	36.87		日本10年債	0.0910	▲0.7bp
S&P	2,349.25	11.67		米国2年債	1.2466	1.2bp
日経平均	19,437.98	199.00		米国5年債	1.9914	2.8bp
TOPIX	1,553.69	14.57		米国10年債	2.4932	2.3bp
シカゴ日経先物	19,440	▲60.00	為替市況	独10年債	0.3730	0.7bp
ロンドンFT	7,302.41	33.85		英10年債	1.2970	▲1.3bp
DAX	11,793.93	22.12		豪10年債	2.7870	5.0bp
ハンセン指数	23,994.87	291.86		USD/CNH	6.8451	▲0.0150
上海総合	3,212.99	▲4.94		ドルインデックス	101.11	▲0.14
USDJPY 3M Vol	11.36	▲0.63%	商品市況	CRB指数	193.257	0.98
USDJPY 6M Vol	11.06	▲0.40%		NY金	1,233.10	7.70
EURJPY 3M Vol	12.79	▲0.54%		WTI	53.11	▲0.09
EURJPY 6M Vol	12.08	▲0.27%		Dubai Spot	53.58	▲0.75

東京	東京時間のドル円相場は114.28レールでオープン。高寄りした日経平均株価が堅調推移したことや、本邦実需勢によるドル買い期待もあり、114円台前半から半ばにかけてもみ合い推移。安倍首相が参院本会議で「時々々の経済状況を踏まえ、機動的な財政運営を行う」との考えを表明したものの、相場への影響は限定的となった。午後に入り、麻生財務相が「米FRBが仮に今年3回利上げをすれば資本流出で新興国経済にリスク。アジアの国などについことになる」と発言したほか、黒田日銀総裁が「国際的に金利が上がったからといって長期金利目標を上げることはない」と発言したものの相場の動因とはならなかった。ドル円は114円台前半から半ばを中心としたレンジ推移となり、結局114.32レールで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は上昇した。114.32レールでオープン。14日にイエレン米FRB議長の議会証言を受けた利上げ期待の高まりからドル買い地合いが継続し114.61まで上昇。しかし、一旦は利益確定と見られる売りが入り、114.47レールまで下落してNYへ渡った。ポンドドルは下落した。1.2468レールでオープン。英国立統計(ONS)が発表した、10-12月の失業率が4.8%と11年ぶりの低水準となるも、ポンドを含む貨金の上昇率が前年比2.6%と予想の2.8%を下回り、5-7月以降で初めて伸び悩んだことを背景に、1.2420まで下落。その後も値を下げ1.2417レールでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は114円台半ばまでの底堅い推移となり、114.47レールでNYオープン。朝方発表された米2月ニューヨーク連銀製造業景気指数、米1月消費者物価指数(前月比)、米1月小売売上高速報(前月比)が予想を大きく上回ったことから、ドル買いが強まりドル円は一時114.95まで急伸。しかし、115.00手前ではオプションがらみのドル売り意欲も強く、その後発表された米1月鉱工業生産(前月比)が予想を下回ったこともあり114.36まで反落する。トランプ大統領から税制改革について「米経済にかなりの影響を与える絶好の機会になる」との発言を受けて、ドル買いが強まり114.70付近まで値を戻すが、特段ニュースが見当たらない中、米長期金利が低下し、ドル円は再び下値を試す動きに一時113.85まで下落。昨日のイエレンFRB議長の早期利上げの可能性についての発言があったことや、今朝の米経済指標もおおむね堅調であったこともあり、この水準では下げ渋った。午後はハーカー・フィラデルフィア連銀総裁から「今年の利上げは3回が適切」との発言があったもののドル円の反応は限定的となり、114円台前半での上値の重い推移が続き、114.16レールでクローズした。一方ユーロドルは、1.0553レールでNYオープン。朝方は堅調な米経済指標を受けてドル買いが強まり、ユーロドルは一時1.0522まで下落。しかし、その後米長期金利の低下を受けてドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.0609まで上昇し、1.0599レールでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
2月15日	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	12月 4.8%	4.8%
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	2月 18.7	7.0
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.6%/2.5%	0.3%/2.4%
	22:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	1月 0.3%/2.3%	0.2%/2.1%
	22:30	米 小売売上高(前月比)速報	1月 0.4%	0.1%
2月16日	00:00	米 イエレンFRB議長 議会証言	-	-
	03:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	03:10	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-

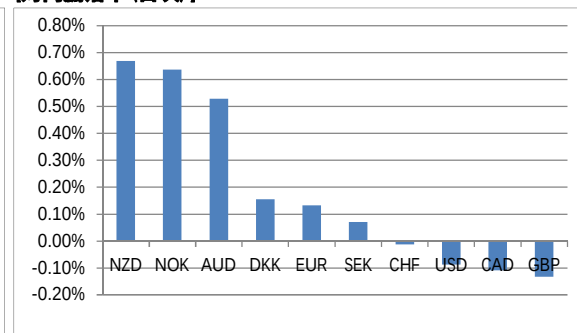
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
2月16日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	09:15	米 ガドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	1月 10.0K/5.8%	13.5K/5.8%
	21:30	欧 ECB理事会 議事要旨	-	-
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	1月 1,226K/1,230K	1,226K/1,228K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 245K	234K
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	2月 18.0	23.6
2月17日	05:10	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-114.70	1.0530-1.0600	120.60-121.20

[マーケットインプレッション]

昨日の海外時間のドル円は往って来いとなった。欧州時間、114円台半ばで揉み合い後、北米時間に発表された1月米小売売上高、1月米消費者物価指数、2月NY連銀製造業景気指数等が総じて強い結果となったことを受けて米金利が上昇すると、ドル円も買いが強まり114.95円まで上昇。しかし、115円手前ではオプション取引に絡む相応の売りに上値を抑えられると、1月鉱工業生産指数が市場予想比弱含んだことや米金利上昇が一服したことからドル円は一転、売り優勢となり113.85円まで押し戻される展開。その後はやや値を戻し、114円台前半で東京市場に戻って来ている。本日のドル円は方向感に乏しいも、底堅い値動きを予想する。足元、米経済指標は概ね良好、米株相場も最高値更新を続けるなか、イエレン議長をはじめとして複数のFEDメンバーからタカ派寄りのコメントが聞かれる。目先、やや取引材料に欠けるも、そうしたFEDの利上げスタンスがドルの下支えとなり、ドル円についても底堅い推移を見込む。